

THE KILLER WHALE TIMES

2020 年度 対北大定期戦号

だんだん肌寒くなってきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。こんにちは、タイムス班の清野です。

新型コロナウイルスの影響で、これまで大学の部活動が禁止されたり、大会が中止・延期されてきました。そんな環境下でしたが、10月4日(日)に伝統ある「第58回北海道大学対小樽商科大学漕艇定期戦」(以下対北戦)を開催することが出来たことをうれしく思います。対校女子シングルスカルは見事優勝、対校男子舵手付きフォアは惜しくも準優勝となりました。来年こそはさらに良い結果を残せるよう頑張っていきたいと思います。皆様応援ありがとうございました。



応援ありがとうございました!!!

RACE RESULTS

○対校男子舵手付きフォア（2000mレース）

C：西谷昇馬(3) S：荒井隼人(4) 3：根間大輔(3) 2：岩谷旭(2) B：善積健太(3)

レーン	クルー名	着順	タイム
1	北海道大学	1	7：02.02
2	小樽商科大学	2	7：05.03

○対抗女子シングルスカル（2000mレース）

レーン	名前	着順	タイム
1	林 美沙	2	8：50：19
2	田畑 七奈	1	8：32：65





これから出艇です！！

応援に駆けつけてくれた、小樽商大応援団「慶援団」の皆さんです！ありがとうございました！



ドローンによるレースの生配信を観戦中！



○荒井隼人(4)

昨年同様、整調として出場させていただきました。去年一昨年の対北戦、1週間前に行われた全道選手権で北大に敗れたことの雪辱を晴らすため、そしてインカレに弾みをつけるために満を辞して臨みましたが3秒差で敗れてしまいました。コロナによる部活の規制などで思うように練習はできませんでしたが、限られた時間の中でできることはやったと思います。敗れはしましたが、当日の漕ぎは今までの練習の中では1番よく、それを上回る完成度の北大が素晴らしかったです。レース展開も終始競るもので本来の力の120%は出し切ったと思います。

私自身3回目の対校フォアの出場となり、茨戸での最後のレースということもあり、やる気に満ち溢れていました。なんとしても勝ちたかったですが、北大の層の厚さやフィジカルなど商大に足りていない部分の差が出たのだと思います。商大も来年以降もっと部内競争の激しい部活にならなければいけないと改めて思いました。

あっという間にボート部での活動が終わろうとしています。最後の大会であるインカレまで残りわずかとなりました。出来ることはなんでもやり、悔いを残さずに笑って引退できるように最後の漕ぎまで全力で漕ぎ続けたいと思います。

最後になりますが、たくさんの応援ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

○西谷昇馬(4)

こんにちは、今回の北海道大学対小樽商科大学定期戦で舵手付きフォアのcoxをさせていただいた4年目の西谷です。

今年の北大戦はコロナの影響で小規模かつ低密度の開催となりましたが、なんとかレースを出来ることになり本当に良かったです。

僕は今年が2回目の対北大戦でした。前は2年生のときに同じくcoxとして対抗フォアに乗っていて、北大に僅差で敗れています。

今年のクルーは以前のフォアと比べると、漕ぎが荒削りな感じでまだまだ技術は足りていないとレース前から感じていました。しかしここ数週間の練習は密度が濃く、艇速が日に日に上がり以前に負けないほどノッている状態で、大会前に行った艇上2000mTTは7:06とそれまでのベストタイムより3秒ほどあがり、「今年こそは」と意気込んで本番レースを迎えました。

しかし、本番では7:05.03とベストを出すもあちらも7:02.02とベストタイムを出して優勝を逃してしまいました。

力は100%出し尽くしたものの、技術の低さが数秒を分けたレースだったと今では願えます。

あちらは本チャンクルーではない状態でのタイム。人数の少なさと練習量の少なさをどうカバーしていくか、来年までに課題を克服したいと思います。

レース後は悔しくて仕方がなかったのですが、試合後に谷津さんから激励を頂き、「次こそは」と気持ちを新たにしました。

わざわざ駆けつけてくださった応援団の方々、遠いところを時間を作り来てくださったOBOGの方々に対し、こ

ういう状況だからこそ改めて有り難さを感じます。応援してくださる方々全てに感謝をお伝えしたいです。ありがとうございました。

残すはインカレのみ、泣いても笑ってもこれで最後。悔いだけは残さずいきたいと思います。

○田畑七奈 (4)

ありがたいことに1年目から毎年出させていただいていましたが、今回でラスト。勝利を収め、目指すは全戦全勝。気合は十分でした。

今年のお相手は藤女子の3年目。フィジカルもメンタルもガッツも素晴らしい選手です。メキメキと実力をつけているのを間近で見っていたので、最後の最後まで勝敗が分からない戦いになるかもしれないと感じていました。

レース本番。スタートを盛大に失敗してしまい、序盤から追いかける展開となりました。多少焦りはしたものの、1000m地点でなんとか前に出ることができ、そのまま差を広げ1着でゴールしました。

漕ぎに関する反省点はいくつもありますが、茨戸でベストに近いタイムが出せたこと、そしてイーブンペースで2000mを漕ぎ切れたことは大きな成果でした。また不思議なことに、レース中に今までに無いくらい声援が鮮明に耳に届きました。それに応えようと頑張れたことも大きな勝因だと考えています。現役をはじめ応援団の皆さん、OBOGの方々、本当にありがとうございました。

インカレまで残り1ヶ月もありませんが、まだまだ成長し続けていきたいと思っています。



監督兼ヘッドコーチ報告

監督 谷津法彦 (平成5年卒)

開催するかしないかで判断が揺れましたが、やはり定期戦は何としてでもやりましょうという事に決定したのが8/30のこと。種目は新人とOBエイトは無し、女子シングルと男子舵手付フォアの対校戦のみとなりました。

女子シングルの田畑はタイムだけ見ると圧勝のようですが、伸長著しい林さん相手に1,000mまでは完全に並ばれていました。しかし後半に地力の差を発揮して一気に水を開けました。これで4年間全ての北大戦で勝った事になります。レース後に動画を見ながら意見交換をしました。自粛期間に落ちてしまったパワーもだいぶリカバー出来てきましたが、やはりまだ技術の部分でそれを艇に伝えきれない感はや改善かと思っています。

男子フォアは前半から出られていたようです。後半のスパートでかなり詰めましたが結果は3秒差の惜敗。横からの流れに影響さ

れてややコース取りで膨らんでしまったのも痛かった。審判長の東さんや北大・佐野部長、江川監督からもとてもいいレースだったと言われました。練習再開から1か月半、後ろ3人はほとんどスイープオールの経験無しでした。はっきり言ってまだ合っていないし遠目にもスプラッシュは大きい。でもどちらかと言うと自粛明けのこの短期間でよくぞここまで来てくれたという思いの方が上回っています。

しかし何よりも今年開催が危ぶまれたこの定期戦が無事に行われた事が非常に嬉しく感慨無量です。感染予防対策の為に完全な形ではなかったものの、役員、スタッフ、審判団、応援団、OBOGの力添えのもと、両校が非常に熱いレースを展開してくれました。大袈裟でなくスポーツの力、ROWINGの素晴らしさを感じられる1日でした。応援に来て下さった塚原さん、石出さん、森井さん、岩澤さん、応援団後援会の小西さん、八十島さん、ありがとうございました。

この日の経験を糧に、いよいよ最終目標である10/22～25の全日本大学選手権に臨みます。北大戦と同じ男子付きフォアと女子シングルでの出漕です。日ボでは感染拡大防止対策の一環として出漕クルー数に制限をかけるという事で、当初エルゴタイム上位のクルーに絞るという案が出されていました。しかし結局エントリー数が少なかった為にエントリーしたクルー全てが出漕可能という事になりました。

それと別に嬉しいお知らせがあります。1名だった1年生部員が3名増え、計4名になりました。男子2名の女子2名です。9月下旬に大学公認の部活オリエンテーションがあり、そこから試乗会を行い入部に至ったそうです。大会前の練習の合間を縫って試乗会を企画した現役部員の苦勞が報われたようで本当に嬉しい限りです。やはり1年生の方でも部活への渴望があったということなのでしょう。

あつと言う間の2020年シーズンが終わろうとしています。練習条件は平日の10:00～16:00限定だった練習時間が、土日も含めた9:00～16:00に緩和されるとのことです。監督が参加禁止なのは相変わらずですが、そこは上手くこなしていくつもりです。すっかり日も短くなり朝晩の寒さが身に伝えるようになりましたが、体調管理に万全を尽くしながら突っ走るのみです。もうしばらく商大ボート部の戦いぶりにお付き合い頂ければ幸いです。

ご意見、ご要望などございましたら下記アドレスまでお願いします。

n_tanitsu@yahoo.co.jp

レース用女子シングルスカル 新艇購入基金のご報告

かねてよりお願いしておりましたインカレに向けての新艇購入基金ですが、目標の80万円に対して52組・869,000円のご厚情を賜りました。インカレ前の10/19に戸田納艇です。

費用は艇本体が輸送費込みで737,000円、アルミパイプ製のウマも買いますので、桑野造船への支払い合計は750,200円となります。残額はとりあえずこのまま新艇口座にプールしておいて、次回の定時総会にて今後の使い道について諮りたいと思います。なおご協力下さった方々の一覧は次回しゃちに掲載させていただきます。

新型コロナウイルス禍の大変な状況の中、趣旨にご理解、ご協力下さいましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

後援会費について

後援会費は、原則として1年で¥10,000の定額です。 ¥10,000以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。(尚、後援会会則に則り、満年齢65歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方は原則後援会費は免除扱いとなっています。)

後援会費は、日本信販の自動引落サービスをご利用できます。できる限り多数のOBの方々をご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更につきましては、現役会計(廣中にいな)か担当の平成10年卒 佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

ゆうちょ銀行 店名・店番:908
口座番号:1532438 (普通預金)
北洋銀行 店番:341
なまえ:オタルシヨウカダイガクソウ
口座番号:3657349
タイプ 取引店:小樽中央支店
連絡先: 会計 2年目 廣中にいな
TEL: 080-1896-7158
MAIL: ouc.rowing2021@gmail.com

❖個人情報保護の取り組み❖

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

- ・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送・配信など)の範囲内での利用に限定します。

- ・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応をいたします。

- ・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切に管理いたします。

ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしく願いいたします。

連絡先: タイムス班
1年目清野 綾花
TEL: 090-4871-4723
Mail: rowing1937@yahoo.co.jp